

基本情報

科目名	日本国憲法
時間割コード	0126110602
ナンバリングコード	N11013-L-01
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2024年度 第 2 学期
曜限	他
開講区分	第 2 学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	寺本 奈津樹
科目区分	共通科目 人間と生活の理解
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
寺本 奈津樹

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、憲法の特徴、基本的人権の保障、権力分立、国家との関係をおさえながら、日本国憲法の各条文を通して、日本国憲法の根底にある考え方を学ぶ。 学修者は、憲法の特徴を理解し、国家・権力分立を踏まえ、基本的人権がどのように保障されているのかを理解できるようになる。あわせて、日本国憲法と他の法規範・条約との関係を意識しながら、日本国憲法の各条文の解釈に基づき、現代社会の諸問題を考えることができるようになる。
履修上の注意事項	・理解度を確認するために、授業内で小テストを実施します。実施日や範囲は事前に連絡します。 ・他の科目との関連を意識して、授業に臨んでください。 ・単に条文を暗記するのではなく、その条文が置かれた背景や意義、現代における解釈の問題点に着目するようにしましょう。 ・わからないことは、積極的に質問してください。 ・授業の進行は、理解度に応じて変更する場合がありますが、その際には事前に連絡します。
評価方法	授業に関する小レポート15%、小テスト15%、定期試験70%で評価する。 フィードバックとして、授業に関する小レポートや小テストにコメントする。
テキスト	・阪本昌成編著『謎解き 日本国憲法〔全訂第3版〕』（有信堂高文社、2024年） ・野崎和義監修＝ミネルヴァ書房編集部編『ミネルヴァ社会福祉六法2024〔令和6年版〕』（ミネルヴァ書房、2024年）
参考文献	・初宿正典＝高橋正俊＝米沢広一＝棟居快行『いちばんやさしい憲法入門〔第6版〕』（有斐閣、2022年） ・その他、授業内で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	・アクティブ・ラーニングとして、適宜ディスカッションを行う。積極的に参加することを期待する。 ・毎回Formsを用いて理解度を確認しながら授業を進める。

授業計画

授業計画
・授業は、レジュメとテキストをもとに進める。 ・授業で使用するレジュメは、事前にCampusSquareにアップロードする。 ・本科目では各条文を参照しながら授業を行うため、『ミネルヴァ社会福祉六法2024〔令和6年版〕』を持ってくること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：授業の進め方、注意事項の説明 イントロダクション：憲法の特徴、人権、権力分立	事前：レジュメ（第1回）、テキスト（はじめに・序章）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	授業の進め方、注意事項、授業に関する小レポートの提出、小テスト、評価について詳しく説明します。

授業計画

- ・授業は、レジュメとテキストをもとに進める。
- ・授業で使用するレジュメは、事前にCampusSquareにアップロードする。
- ・本科目では各条文を参照しながら授業を行うため、『ミネルヴァ社会福祉六法2024 [令和6年版] 』を持ってくること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	立憲国家と憲法：絶対王政、自然権、立憲国家の憲法の特徴	事前：レジュメ（第2回）、テキスト（第1章）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
3	日本国憲法の制定と基本原則：明治憲法の特徴、日本国憲法の基本原則、憲法改正	事前：レジュメ（第3回）、テキスト（第2章）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
4	人権の基礎、範囲と制約：自由、人間の尊厳、個人の尊重、人権保障の範囲、公共の福祉	事前：レジュメ（第4回）、テキスト（第3章）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
5	平等な社会に不可欠の人権：法の下の平等、差別の問題、憲法違反の差別	事前：レジュメ（第5回）、テキスト（第4章p79～p89）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
6	平等な社会に不可欠の人権：選挙権の平等、投票価値の平等、家族をめぐる平等問題	事前：レジュメ（第6回）、テキスト（第4章p89～p99）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
7	平等な社会に不可欠の人権：生存権、高齢社会と社会保障	事前：レジュメ（第7回）、テキスト（第4章p100～p104）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	

授業計画

- ・授業は、レジュメとテキストをもとに進める。
- ・授業で使用するレジュメは、事前にCampusSquareにアップロードする。
- ・本科目では各条文を参照しながら授業を行うため、『ミネルヴァ社会福祉六法2024 [令和6年版] 』を持ってくること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	自由な社会に不可欠の人権：信教の自由、政教分離、思想・良心の自由	事前：レジュメ（第8回）、テキスト（第5章p105～p114）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
9	自由な社会に不可欠の人権：表現の自由、表現の内容規制、内容中立規制、マス・メディア、インターネット	事前：レジュメ（第9回）、テキスト（第5章p114～p127）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
10	自由な社会に不可欠の人権：職業選択の自由、居住・移転の自由、財産権、社会国家、労働基本権	事前：レジュメ（第10回）、テキスト（第5章p127～p140）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
11	自由な社会に不可欠の人権：幸福追求権、プライバシー、自己情報コントロール権、自己決定権	事前：レジュメ（第11回）、テキスト（第5章p140～p149）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
12	国民の代表機関 としての国会：国会の地位と権限、国会の構成と活動、議院の構成と権限	事前：レジュメ（第12回）、テキスト（第6章）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
13	国民の代表機関 としての内閣：議院内閣制、内閣の構成とはたらき、行政国家、地方自治	事前：レジュメ（第13回）、テキスト（第7章）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	

授業計画

- ・授業は、レジюмеとテキストをもとに進める。
- ・授業で使用するレジюмеは、事前にCampusSquareにアップロードする。
- ・本科目では各条文を参照しながら授業を行うため、『ミネルヴァ社会福祉六法2024〔令和6年版〕』を持ってくること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	司法権と裁判所：司法権の範囲と限界、裁判所の構成、裁判の公開、司法権の独立、裁判官の身分保障	事前：レジюме（第14回）、テキスト（第8章p183～p193）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジюмеとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	
15	司法権と裁判所：憲法の番人、違憲審査、国民の司法参加と裁判員制度、被告人の権利、被害者の参加	事前：レジюме（第15回）、テキスト（第8章p193～p198）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジюмеとテキストを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容を復習する。（2時間）	

基本情報

科目名	体育
時間割コード	0126111101
ナンバリングコード	N11013-LS-01
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2024年度 第 1 学期
曜限	木 5
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	本田 沙織
科目区分	共通科目 人間と生活の理解
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
本田 沙織

詳細情報

授業の目的・到達目標	心身の健全な発達の促進、運動やスポーツに内在する楽しみや技能、健康、体力の保持・向上・増進のための運動処方などを、総合的・実践的に「生涯スポーツ」として、スポーツや身体運動を定期的 to 実施する習慣を身に付け、自ら把握できるようになる。
履修上の注意事項	現代社会における「スポーツ・身体運動」の役割が、いかに重要で大切かを理解し、積極的に楽しく実技科目（身体運動や各種スポーツ種目）に参加して、その必要性を実感していただきたい。実技授業は、運動のできる体育服・運動靴を着用し参加すること、普段着での参加は認めない。体育服は、クラブサークルのユニホームや高校時使用のもので構いません。運動靴は、外履き用と体育館シューズを準備してください。
評価方法	2 / 3 以上の出席者に対して ・自主的学習態度 . . . 70% ・課題レポートや運動技能等 . . . 30% 課題レポートについては、提出後コメントを記載したレポートを返却する。また、運動技能については、随時理解度確認のために行い、総合評価する。
テキスト	使用しない
参考文献	使用しない
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	フィリピンにて体育教員としての経験から、運動することの楽しさを再確認し、生涯スポーツへ繋げていくことができるよう授業を展開していく。また、技術・知識の習得のみならず専門的な運動機能などの知識の習得を通して、思考力・実践力が身につけられるよう授業を展開していく。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	問題解決学習、体験学習、グループディスカッション、グループワークを中心に授業を行う。

授業計画

授業計画

1. オリエンテーション(授業の流れを理解することができる)、運動行動と身体とのかかわりを説明できる
2. 運動しないと身体へどのような影響が考えられるか説明できる
3. 身体組成から見た運動行動の大切さについて説明できる
4. 無酸素運動について説明できる
5. 有酸素運動について説明できる
6. 筋肉の種類から見た運動の適正について説明できる
7. 運動の強度と運動時間について説明できる
8. 運動とエネルギー供給の関係について説明できる
9. 運動の種類と循環器の関係について説明できる
10. メタボリック理解とその対策について説明できる
11. 運動と栄養・休養との関係について説明できる
12. 運動によって引き起こされる運動障害について説明できる
13. トレーニングの種類とその効果について説明できる
14. 運動を行うに時に注意すべき事項について説明できる
15. 健康維持のための運動について説明できる

事前・事後学修

・事前学習

毎回、授業の終わりに配布される次回の内容に関する課題を熟読し、下調べをする。(2時間)

・事後学修

授業の復習を行い、分からない用語などを調べる。(2時間)

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	英会話
時間割コード	0126120401
ナンバリングコード	N11023-L-01
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2024年度 第 1 学期
曜限	木 4
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	後藤 隆昭
科目区分	共通科目 ことばと文化
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
後藤 隆昭

詳細情報

授業の目的・到達目標	Through your active participation and effort for cultural enrichment, 1. you can improve your vocabulary and speaking skills. 2. you can improve your listening and pronunciation skills. 3. you can improve your personal confidence and communication skills through group work in both everyday and professional situations.
履修上の注意事項	A paper or an electronic dictionary is needed. The schedule and contents are subject to change.
評価方法	Learning attitude 25%, Assignment 15%, Final test 60% Feedback will be explained in the class.
テキスト	Interchange 1 (Fifth edition) Students Book (ISBN 9781316620311)
参考文献	Nothing in particular.
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	Group work or presentations will be used.

授業計画

授業計画
Students are required to dedicate two hours each to do homework and review lessons.

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	Introduction & Unit 1: Where are you from?		
2	Unit 1: Where are you from?		
3	Unit 2: What do you do?		
4	Unit 3: How much are these?		
5	Unit 4: Do you play the guitar?		
6	Unit 5: What an interesting family!		
7	Unit 6: How often do you run?		
8	Unit 7: We went dancing!		
9	Unit 8: How 's the neighborhood?		
10	Unit 9: What does she look like?		
11	Unit 10: Have you ever been there?		
12	Unit 11: It 's a really nice city.		
13	Unit 12: It 's important to get rest.		
14	Unit 13: What would you like?		

授業計画

Students are required to dedicate two hours each to do homework and review lessons.

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	Unit 14: It 's the coldest city!		

基本情報

科目名	情報リテラシー
時間割コード	0126130202
ナンバリングコード	N11031-S-01
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2024年度 第 1 学期
曜限	金 4
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	高校における「情報」の履修を踏まえ、大学生として、また社会にでてからも必要となっていく「情報活用力（情報リテラシー能力）」を高めていくことがねらいである。これにより、これからの高度情報化社会に対応した、身の回りのパソコンやネットワークなどの情報環境を、自ら積極的に、利活用できるようになることを目指す。
履修上の注意事項	授業は、コンピュータ室のWindowsパソコンを使い、双方向授業システムWingNetを用いて実施する。 パソコンの基本操作が充分理解できていない学生は、事前に予習をしておくこと。 また講義中はゆっくりノートをしている時間はないので、復習する中で自分の理解を確かめながら、手順や注意事項をメモするように。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断する。配点は、レポート30%，試験70%。再試験は行なう。
テキスト	「情報倫理ハンドブック」noa出版
参考文献	講義中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	反転講義型のアクティブラーニングを行なう。 配布した資料で、事前に演習内容や演習方法について学び、実際の講義で演習を行なって確認してもらう。初回の講義で、進め方について案内する。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	情報教育システムの利用について（森）	事前：キーボードの使い方、キーの呼び方や記号の読みを確認しておく（2時間） 事後：授業内容を復習し、他のコンピュータ室の場所や設備を確認する（2時間）	
2	E-mailの利活用（森）	事前：E-mailに関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：スマホや自宅のPCで、Office365を使ってみる（2時間）	
3	Wordの基本操作 日本語入力，段落設定，段組み等（森）	事前：フォントに関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
4	Wordの基本操作 罫線，図の挿入等（森）	事前：Wordの罫線と図に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	Wordの基本操作 図形描画，曲線とフリーフォーム（森）	事前：Wordの図形描画に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習ためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
6	文献検索（福本／図書館），インターネットの利活用（森）	事前：インターネットに関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習ためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
7	情報モラル，情報セキュリティについて（森）	事前：テキストの指定箇所を読んで予習する（2時間） 事後：復習ためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
8	Excelの基本操作 データ入力，表作成等（森）	事前：Excelの基礎に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習ためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
9	Excelの基本操作 グラフ作成（森）	事前：Excelのグラフに関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習ためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
10	Excelの基本操作 コピーと移動、絶対参照と相対参照等（森）	事前：セルのコピーと移動に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習ためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
11	Excelによるデータ処理 様々な関数の利用（森）	事前：Excelの関数に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習ためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
12	Excelによるデータ処理 並べ替え，フィルター等（森）	事前：Excelのデータ処理に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習ためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
13	Excelによるデータ処理 ピボットテーブル（森）	事前：Excelのピボットテーブルに関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習ためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
14	Powerpointの基本操作 入力，テーマ設定 等（森）	事前：Powerpointの基礎に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習ためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	
15	Powerpointの基本操作 画面切り替え，アニメーション 等（森）	事前：Powerpointの基礎に関する事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習ためのレポート課題を演習し、提出する（2時間）	